

進修館だより 交流マップ

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様を
マップに掲載していく形でご紹介します！



中国料理 白木蓮
和戸公民館の横にある本格中国料理のお店。半月替わりのランチメニューがリーズナブルで美味！夜は自家製点心を始め、肉・海鮮・ご飯物・麺類など幅広いメニューが楽しめます。お弁当、オードブル等のテイクアウト（要予約）もオススメ！



- 町外の皆様**
- ・(株)彩和とらすとサービス (白岡市小久喜)
 - ・杉戸町障がい者支援センター (杉戸町清地)
 - ・日の出 (幸手市中)
 - ・(株)あおば保険事務所 (春日部市中央)
 - ・白田陽介税理士事務所 (久喜市久喜東)
 - ・実業 CAFE パロキア (久喜市菅沼町)
 - ・入間市文化創造アトリエ AMIGO! (入間市仏子)
 - ・象設計集団 東京事務所 (東京都狛江市)
 - ・沖縄県今帰仁村役場 (沖縄県国頭郡今帰仁村)
- 配布などでご協力いただいている方々**
- ・ふれあいクラブ (宮代町宮代台)
 - ・～語りと和楽の芸人衆～ かたりと (東京都北区)

■ 進修館だよりで交流させていただいている自治会をご紹介します！ (50音順)

- | | | | | |
|----------|---------|-------------|------------|----------|
| ・内野 | ・新中町会 | ・中須地区 | ・宮代1丁目第2町会 | ・和戸2丁目2区 |
| ・笠原2丁目町会 | ・新道三区町会 | ・中寺地区自治会 | ・宮代学園台自治会 | ・和戸3丁目 |
| ・川端一区自治会 | ・新道第一町会 | ・東条原自治会第1地区 | ・宮代台自治会 | ・和戸4丁目1区 |
| ・川端二区自治会 | ・新道第2町会 | ・東条原自治会第2地区 | ・桃山台自治会 | ・和戸4丁目2区 |
| ・川端三区自治会 | ・辰新田町内会 | ・姫川二区自治会 | ・山崎 | ・和戸5丁目地区 |
| ・国納北 | ・中央第1町会 | ・姫宮南団地自治会 | ・柚の木二区自治会 | |
| ・国納南 | ・中央第2町会 | ・藤曽根地区 | ・和戸1丁目町内会 | |
| ・逆井地区 | ・道佛1区 | ・宮代1丁目1町会 | ・和戸2丁目1 | |



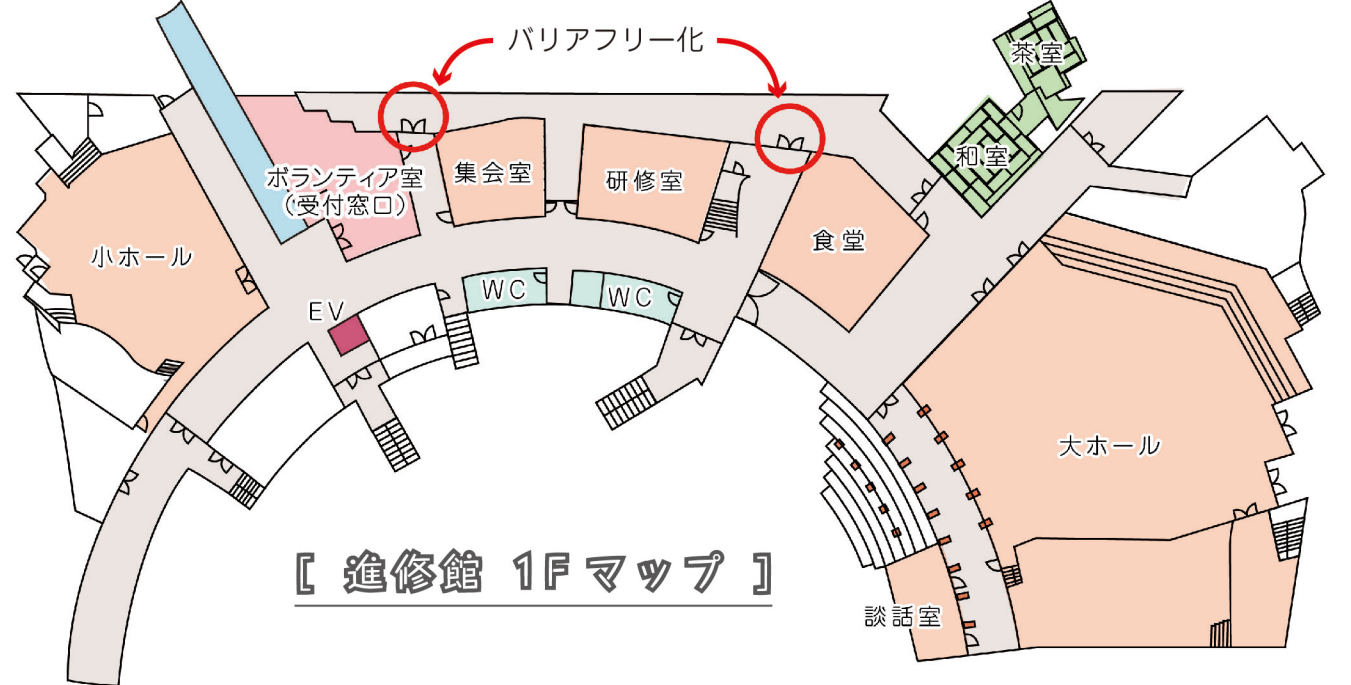
Community Center Shinsyukan

進修館だより



バリアフリー化工事を行いました。

進修館は段差が多く、車いすやベビーカーで来館いただく方から、「入りにくい」「タイヤが引っかかって危ない」などの声をいただいていた。これを受けて、ボランティア室前と食堂前の入口の段差をなくす工事を実施しました。



丸印のところが、今回バリアフリー化工事を行ったところ。出入り口のところの段差がなくなり、どなたでもスムーズに入館できるようになりました。



進修館だより 2023年3月号 (第24号) 第1版：2023/02/26 発行
発行元：宮代町立 コミュニティセンター進修館
(指定管理者：特定非営利活動法人 MCAサポートセンター)
住所：〒345-0822 埼玉県南埼玉郡宮代町笠原1-1-1 TEL：0480-33-3846
URL：https://www.shinsyukan.or.jp E-mail：info@shinsyukan.or.jp

■ 進修館の印刷機等について



進修館ボランティア室には、セルフ印刷機・コピー機等を設置しています。3月は総会資料印刷のご利用が多く、大変混みあいます。

自治会、市民活動サポートセンター登録をしている方におかれましては、利用日の3か月前から予約ができます。

詳しくは、進修館受付までお問合せください。

※印刷機のご予約に際しては、サポセン登録番号・自治会登録番号をお知らせください。

名称	料金	利用予約	備考
カラーコピー機	カラー 40円/枚 モノクロ 10円/枚	×	PDF (.pdf)、JPEG (.jpg)のほか、Microsoft Word (.docx)、Excel (.xlsx)、PowerPoint (.pptx)の各ファイル印刷可 ※データはUSBにてご持参ください
モノクロ印刷機 (リソグラフ)	製版 50円/版 印刷 0.6円/枚	○ 予約受付:利用日の3か月前~前日 1予約30分まで	紙はご用意ください(窓口販売もあります) PDFデータでの印刷可(有料・要予約) 封筒印刷可 両面印刷の場合、片面印刷後5時間あけてから裏面印刷してください
紙折機	無料	×	
丁合機	5円/1セット	×	1セットは10枚まで
裁断機	無料	×	

■ 進修館のアウトリーチ事業について

進修館では、地域コミュニティの醸成を目的とした、アウトリーチ事業を行っています。集会所にてサロンや講習会を開催することで、地域の皆さんが交流できる場や一緒に活動できる場を育むお手伝いをいたします。

進修館のアウトリーチ事業について、「ウチの集会所でも、是非開催してほしい」などありましたら、進修館までお気軽にご相談ください。



今年度は「スマホサロン」を開催。多くの方にお集まりいただきました。

■ ちょこっとコラム

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様からお寄せいただいた情報をご紹介します。

学生は卒業の季節、真冬の寒さから気温も徐々に高くなり春を感じる季節ですね。コロナ禍も3年目に入りました。生活様式もコロナ禍を踏まえた行動の継続が続いておりますが、それに加え冬の寒さで運動不足になられている方も多いと思います。基礎代謝を高めるためにも即身体を動かしたい所ですが、必ず準備運動をおこなって下さい。身体に「これから身体を動かすよ」と働きかける事により、普段使われにくい部位に運動を通じてかかる負荷を知らせる事ができます。

春は自律神経も乱れやすい時でもあります。その事を踏まえ、今のうちに身体を動かして心身ともに健康を維持継続していきましょう。身体のちょっとした不調など、お気軽にご相談下さい。

社名:株式会社 セキ薬品
住所:宮代町百間4-2-22
代表取締役会長 関 伸治
代表取締役社長 関 善夫
(会長・社長は、百間中学出身)



1973年12月に宮代町で創業。今年で創業50周年を迎えることになりました。現在211店舗展開中。これからも地域に密着した総合ドラッグストアを目指します!

■ 皆様からの声をお届け!

進修館だよりを通じて交流させていただいている皆様の声をお届けするコーナーです。

2022年5月、和戸公民館の横にオープンした本格中国料理のお店「白木蓮」。コロナ禍に加えロシアのウクライナ侵攻が始まり原価高騰が心配された時期のオープンでしたが、着々と客足を伸ばし、今では町内外問わず様々なお客さんが訪れる人気店に。今回は白木蓮のオーナーシェフ・井本祐樹さんにお話を伺いました。

質問1 「井本さんから見た進修館の印象は？」

- ・岩槻にいた頃は全く存在を知らず、宮代町に住むようになって初めて存在を知った。第一印象は「個性的でお洒落な建物」。
- ・変わった建物で広場もあるので少し興味を持ち、散歩がてら子どもと一緒に訪問したのが最初の訪問。その時の印象は「広場の地形が面白い」「コスプレした人が写真撮ってる」「館内は薄暗くて近寄りやすい」
- ・子どもと広場で遊ぶ目的で、進修館にはちょくちょく訪問している。ただ、広場以外ほとんど利用しない。2フロビーも利用したことがない。



井本さんは岩槻出身。奥様が宮代町出身で、その縁もあって現在は宮代町に在住。ホテルにお勤めだった頃から宮代町の方々には大変お世話になっていたそうで、その流れから宮代町での出店に至ったそうです。

質問2 「今後の進修館に、どのようなことを期待しますか？」

- ・今、宮代町は子育て世代が増えてきていると思うので、進修館がそういう若い世代や子育て世代の人々が気軽に集まれる場所、楽しく過ごせる場所の1つになるといいと思う。
- ・子どもが楽しめる遊具があったりすると、すごくありがたい。
- ・館内の様子がわかりにくく、全体的に立ち寄りにくい雰囲気がある。高齢者の利用が中心になっているイメージが強いため、子育て世代向けのイベントやフードフェスのようなイベントを開催するなどして、幅広い世代に館内の紹介や利用の促進をしていけば面白くなると思う。

井本さんは、ご実家がお蕎麦屋さんだったということもあり、昔から飲食の仕事に慣れ親しんでいたそうです。高校時代に中華料理のお店でアルバイトをしたことをきっかけに中華料理の面白さに目覚め、以降、専門学校を経て浦和ロイヤルパインズホテルに就職、その後、約20年、中国料理の料理人として主にホテルレストランに従事されていたとのこと。子どもが生まれ、数年ほど宮代町の奥様の実家に身を寄せていた時に、かねてより考えていた独立・出店を決意。宮代町に住居を構え、次いで和戸にお店を出して、今に至るそうです。

今後の展望について井本さんは、「宮代町に身を寄せてからずっと、多くの方に良くしてもらっているので、その恩返しの意味も込め、地域に貢献していきたいと考えています。そのためにも、まずは町内外の方々から『宮代町で中華といえば白木蓮』と言われるよう頑張りたいと思っています。」と仰っていました。そして「ゆくゆくは町内で店舗展開もしたいと思っています。たとえば東武動物公園駅近辺にお弁当屋さんを出すとか、シンプルな定食屋を出すとか、なんらかの形で地域に貢献していくことができれば…と思っています。」とも仰っていました。

「宮代町はとても住みやすい町だと思います。人口も程よく、ごちゃごちゃしてないのが私には合っていますね。」と笑顔で仰っていた井本さん。宮代町が好きで、町に貢献したいという井本さんが切り盛りする「中国料理 白木蓮」を、私達も応援していきたいと思いました。



「白木蓮」という店名は宮代町の町花から。「地域に愛されるお店づくりをしていきたい」という思いから命名したそうです。ちなみに白木蓮は中国原産の花だそうです。このことも命名の際の後押しになったとか。